

## 富山県放デイゆるゆる大運動会 実施概要

- 名 称 富山県放デイゆるゆる大運動会
- 日 時 2019年 6月 8日 土曜日 9時～12時
- 会 場 富山県総合体育センター中アリーナ及び富山県空港スポーツ緑地陸上競技場  
(雨天時、富山県総合体育センターのみで開催)
- 参加者 富山県内の放課後等デイサービス事業所を利用する児童及びその家族、職員  
約200名を予定
- 参加料 1家族500円
- 目 的 

文部科学省が平成24年に実施した調査結果によると、公立小中学校の普通学級において、発達障害の可能性のある特別な教育支援を必要とする児童は、6.5%の割合で在籍している。しかし実際の教育現場では、教員1人当たりの担当児童数の多さ、特別支援教育に必要な経験や知識を持つ教員の不足等、普通学級での合理的配慮と必要な支援が未だ不十分である。

運動や体育の面においても、発達に特性のある児童は、運動会や集団でのスポーツ競技に参加が難しいケースが多く見られる。これは通常とは異なる環境、長時間の拘束が児童の負担となり、感覚過敏や集団行動の苦手等の障害特性が要因とされる。本来、楽しいはずの運動会が、児童や保護者にとってはハードルの高い学校行事になっている。

一方、近年では支援を必要とする児童を放課後や長期休暇に預かる放課後等デイサービスの事業所が増加傾向にある。児童や保護者をサポートし、学校とは異なる居場所として、自立支援や健全な育成に繋げる地域の福祉サービスの重要な役割を担っている。

今回、富山県内の放課後等デイサービス事業所に通う児童を対象に、学校では実施が困難な障害特性に配慮した運動会を初めて開催する。障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツの普及や健康増進を図ることを目的とする。また地域協働型の事業として、福祉・教育関係者等が企画・運営に携わり、地域社会に広く活動を発信することで、活動趣旨と障害理解の普及に努める。

●概要 運動会は、ルールの簡略化や途中入退場を認める等の障害特性に配慮したプログラム構成とする。また指示を出す運営スタッフを明確にし、スタッフ1人当たりの担当児童数が少ない人員配置とする。更には家族や事業所職員も参加できるプログラムやいつでも参加可能なフリースペースも用意し、年齢や障害の有無に関係なく、誰もが運動やスポーツに親しむ運動会とする。

適切な企画・運営のため、実行委員会を設立した。地域協働型の事業として、放課後等デイサービス事業所、児童発達支援センター、大学、スポーツ施設等に所属する委員で構成した。

特別支援学校に通う身体や知的障害児のスポーツ行事は全国的に行われているが、普通学級に通う発達障害児を対象にした県内規模の運動会は先進的な事業となる。そのため、プログラム考察や活動で得られた情報を蓄積し、地域や福祉・教育関係者に向けて広く情報を発信することで、地域社会に貢献する。また富山大学及び富山福祉短期大学で福祉・教育を学ぶ学生もプログラム立案のグループワークに加わり、当日の運営スタッフとしてもボランティア参加する。次世代を担う若者の学習の場としても活用する。

●主催 富山県放デイゆるゆる大運動会実行委員会

●後援 富山県、富山県教育委員会、富山県発達障害者支援センター、公益財団法人富山県体育協会、富山市放課後等デイサービス連絡協議会、富山大学、富山福祉短期大学、北日本新聞社

●協力 特定非営利活動法人笑顔スポーツ学園、株式会社 COZY  
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、株式会社ノースランド